

令和7（2025）年度



勵修小学校だより 増刊号①

＜学校教育目標＞

互いを認め合い、すすんで学び続ける児童・生徒の育成
～みんなでつくる「願い」をかなえる学校～

令和7年12月1日
京都市立勵修小学校
校長 中坂 健太郎
TEL 075-591-0003
FAX 075-591-0004



学校評価の結果より

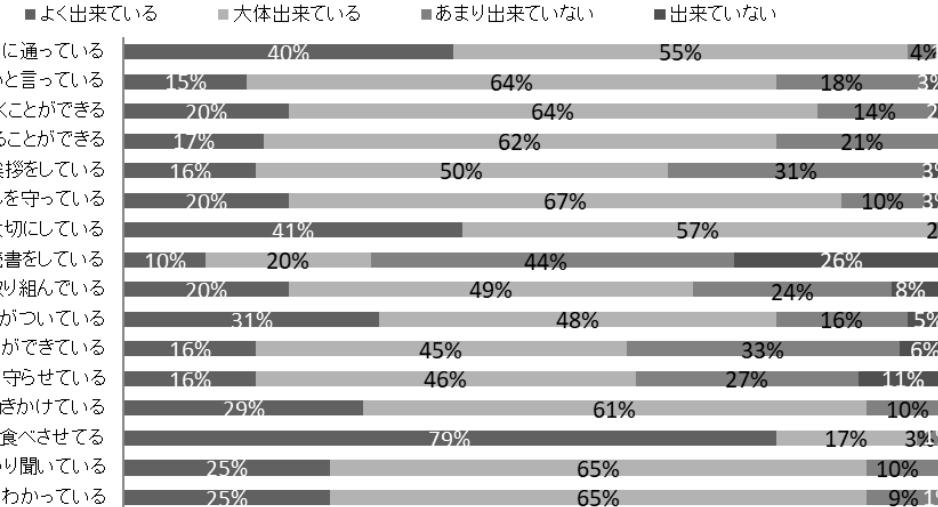


～ご協力ありがとうございました～

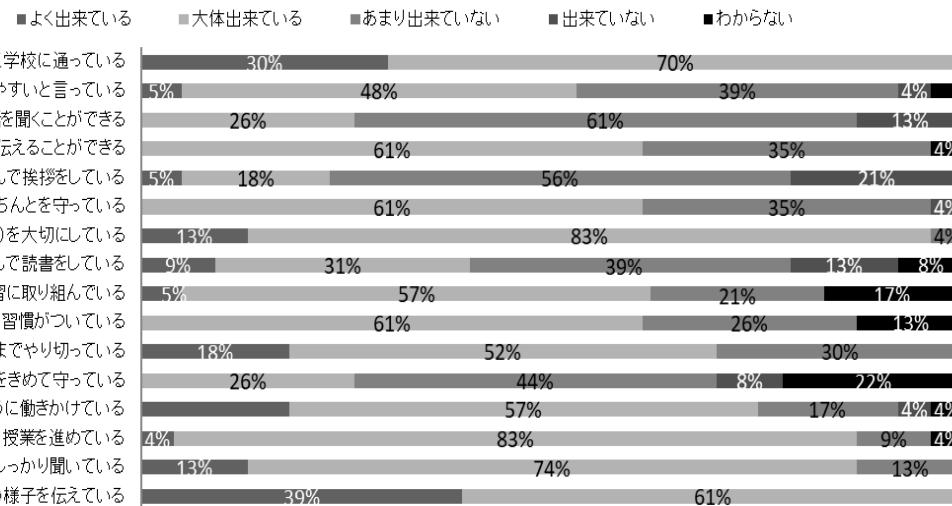


保護者の皆様には、7月に連絡アプリ「すぐーる」にて、「学校アンケートにご協力を」という形で本年度1回目の学校評価をしていただきました。その結果をお知らせいたします。

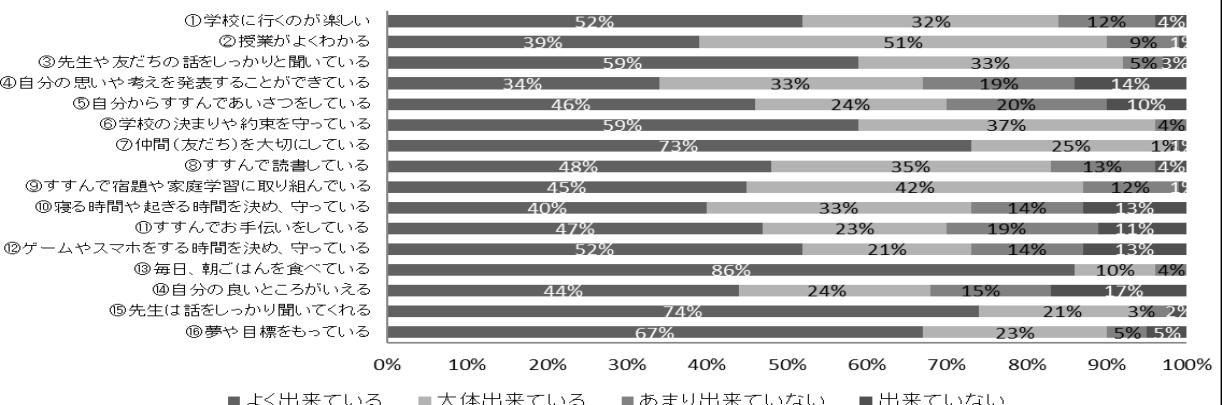
保護者評価アンケート



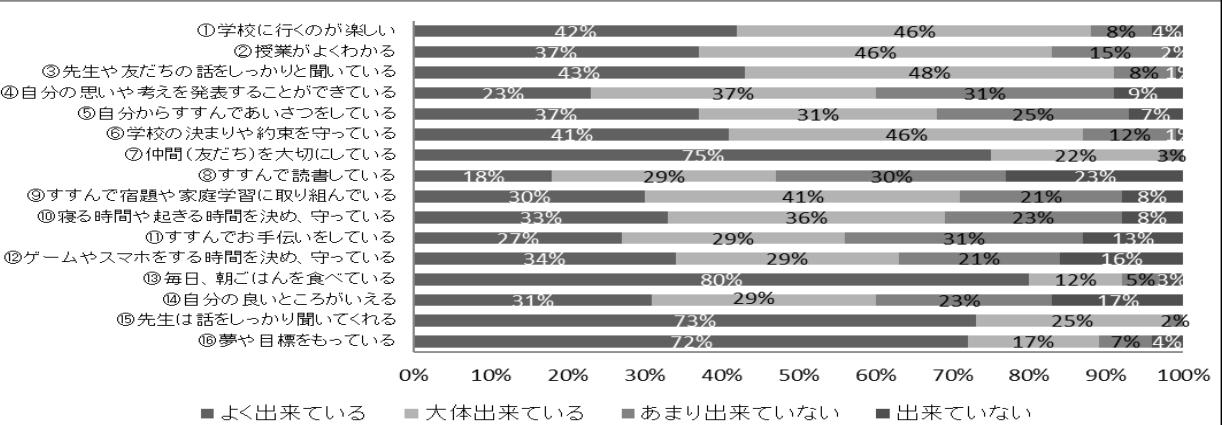
教職員評価アンケート



1・2・3年生の自己評価結果



4・5・6年生の自己評価結果



～保護者・教職員アンケート（左側）の結果より～

・保護者・教職員アンケートにおいて、①「楽しく学校に通っている」⑦「仲間を大切にしている」の項目で高い評価を得られたことは、児童が安心して過ごせる環境づくりが進んでいる証と受け止めています。日々の授業や行事、友だちとの関わりを通して、児童が互いを尊重しながら笑顔で学校生活を送っている様子がうかがえ、今後もこの良好な雰囲気を大切に育んでいきたいと考えています。

・教職員アンケートにおいて⑤「自分からすすんで挨拶」の項目が保護者アンケートよりも低い評価となったことは、児童の挨拶の様子が学校内外で異なることが一因と考えられます。今後は、学校全体で挨拶の大切さを改めて共有し、児童がどの場面でも自ら進んで挨拶できるよう、継続的な声かけや取組を強化してまいります。⑬「挨拶できるように働きかけている」の項目では両方とも高い数値を示していますので、学校でも元気に挨拶できるようにしっかり声かけていきたいと思います。

・⑧「すすんで読書している」については、今までずっと課題となっているものです。図書館での活動を充実させるとともにタブレット端末でも本が読めるような取組を推進していきたいと思います。

・⑫「スマホ・ゲームの時間」に関しては昨年度より時間を守ることができているようです。ご家庭で時間について話していただいている結果だと受け止めています。児童自身が時間の使い方を意識し、生活習慣を整える力が育ってきていることは大変喜ばしいことです。引き続き家庭内のルールを子どもと一緒に確認しながらつくれただけたらと思います。

～児童自己評価（右側）の結果より～

・⑨「すすんで宿題や家庭学習に取り組んでいる」という項目では低学年より高学年の方が実現度が下回っています。学習内容が難しくなっていることは確かですが、学校として主体的に学びに向かえるようしっかりと分析し、取組を考えていかなければなりません。大きな課題として、意識しておきたいと思います。

・昨年度と同様⑦「仲間を大切にしている」①「学校に行くのが楽しい」の項目では低学年・高学年とも「よく出来ている」「大体出来ている」の数値が高いです。もともと非常に高い実現度であり、これ以上はなかなか高まりにくいかとは思いますが、現状維持できていることはうれしいところです。これからもすべての児童がそう思えるように学校が楽しいと感じてもらえるような活動や授業、人権意識や言葉遣いを関連付けた取組を進めていきたいと思います。



令和7（2025）年度

勸修小学校だより 増刊号②

＜学校教育目標＞

互いを認め合い、すすんで学び続ける児童・生徒の育成
～みんなでつくる「願い」をかなえる学校～

令和7年12月1日
京都市立勸修小学校
校長 中坂 健太郎
TEL 075-591-0003
FAX 075-591-0004



自由記述欄にてたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。同じような意見や個別に対応するものについてなどは、ある程度まとめています。ご了承ください。いただいたご意見を教職員でしっかりと受け止め共有し、今後の教育活動、次年度への取組の参考とさせていただきます。



保護者の方からのご意見



○学校生活・行事等について

- いつも丁寧に子どもたちを見ていただき、本当にありがとうございます。
- いつもありがとうございます。子どもは教室に馴染めずに過ごす毎日ですが先生方のおかげで学校に通う事ができます。
- おかげさまで子供は毎日楽しく学校に通っています。日々、先生方にモチベーションをあげてもらい、少し頑張ったらできることを増やしているように感じます。いつも有難うございます。
- いつも子供に向き合って下さりありがとうございます。
- いつもありがとうございます。こんなに一生懸命子供をみてくれる小学校が他にあるのだろうか?と思う程、先生方には手厚く柔軟に対応頂いているので日々感謝しております。
- 先生方（担任だけでなく多くの先生方）からの声掛けを、本人に伝わるように工夫頂きありがとうございます。更にそれを見た周りの友達も伝え方を工夫してくれているようで、相手への思いやりが自然と育まれる環境となっていて素敵だと感じています。学校での様子（授業や周りの子たちとの関わり等）を丁寧に共有頂けて、とても安心しております。いつもありがとうございます。
- 学校にいけない日もありますが、担任の先生が生徒思いのとてもいい先生です。いつもありがとうございます。
- まったく泳げない子供を先生方が一生懸命教えてくださり、泳げなくても、プールの授業が楽しみで楽しみで仕方なかつたようです。先生方の姿勢に感謝しかありません。また、ダンスの発表の場を設けてくださったり、緊張したりとてもいい経験ができて素敵です。
- 自転車講習やキャンプ、お祭り等 子供がとても喜んでいます！大変感謝しております。
- 2年生遠足は猛暑の中でしたが、室内を選んでくださって良かったと思います。猛暑ですので、外で遊べる機会がへっています。夏休みなど、比較的涼しい場所の解放があればありがたいなと思います。
- 行事等の日程は最低でも1ヶ月前には伝えていただきたいです。保護者が対応出来かねます。
- 土曜参観をなくしてほしいです。習い事の試合や練習がある子も多いし、代休があるため意味がないと思います。
- プールの授業がもう少し長くなるといいなと思います。また、長い夏休みにプール開放日があると助かります。運動会は、過ごしやすい5月開催だと嬉しいです。
- 参観日を2日に分けるのはやめて頂ければ助かります。
- プール授業4日連チャンは洗濯辛いです。
- スポーツフェスティバルの時期を暑くないときにしてもらいたい。近年10月上旬でも熱中症になりそうなほど暑いので子供達や保護者の体調面が心配です。
- 以前、学校で行われていた児童のお祭り「勸修フェスティバル」はもうなくなったのでしょうか。子ども達が非常に残念がっています。主体性をのばしたり、計画性を育んだり、良い面もたくさんあると思うのですが、復活は難しいでしょうか。

楽しく学校生活を送っているというご意見をいただきました。これからも子どもたちが主体的に活動できる学校を目指していきたいと思います。また、温かいお言葉をいただき、本当にありがとうございます。教職員一同にとって、大変励みとなりました。今後も、子どもたちの健やかな成長と笑顔のために、地域・保護者の皆さんと連携しながら、よりよい学校づくりに努めてまいります。引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。行事の日程や参観について多数ご意見をいただきました。満足な行事日程にならなかったことは申し訳ありませんでした。今後の反省として来年度に生かしていきたいと思います。スポーツフェスティバルやプールの時期に関しましても、暑さや回数を考慮して進めていければと思います。児童会やたてわり活動の「勸修フェスティバル」につきましては「勸修のスーパーヒーロー委員会」（代表委員会）を中心[new]に新しい催しを計画しています。復活については断言できませんが、児童全員が楽しむことができる児童会活動や学校行事を実施していきたいと思います。

○学習活動について

- チーム担任制・専科性になることでクラス担任の先生だけでなく、多くの先生と接する機会が増えて、本人はより一層楽しく学校に通っていると思います。また先生間の連携・コミュニケーションを取る場面を子どもたちが見る機会も増えて良い学びになるのではないかと思います。
- 学年の担任全員で一学年の子ども達を見る取組がとてもあります。時間割の調整等大変だと思いますが、複数の目で見守ってもらえる安心感がありとても嬉しいです。
- 修学旅行は一年間かけて子どもたちが主体となってプレゼンや計画をすすめ、とても良い取組だと思います。一緒に計画してきた先生方も持ち上がりで、メンバーも変わることなく行けたので子どもも喜んでいました。
- 修学旅行から帰ってきて、「楽しかった！」「また行きたい！」と申しておりました。修学旅行の行き先や昼食のメニューなどを生徒自身がプレゼンをして決めたと知り、とても驚きました。自主性を育てる機会を与えていただき、ありがとうございます！
- 授業のサポートの先生がもう少しいて頂けると安心です。参観日の様子を見ると、まだまだサポートが必要な子が多いように思います。
- 支援の要・不要にかかわらず、全員が各学年・クラスの一員であり、分け隔てなくフラットな関係で共に学び共に育つ学校となるように環境を整えて頂き、本当にありがとうございます。
- 分かる子、理解が出来ている子を中心とした授業の進め方ではなく、分からぬ子に合わせた丁寧な授業の進め方をしてほしい。ついていけない子をどうするつもりか。家庭に投げるのは違うのでは。と思う。
- 宿題の量を増やしたり、やる事を増やしても学力は伸びないです。学校に毎日楽しく行ける環境が出来れば色々なことが伸びていくと思います。お金の勉強、英会話を毎日流すなど変えていかないといけないことが多いと思います。
- 日記の宿題が金曜日にあるとその日に宿題を終わらせてしまいたいので土日の事が書けず困っています。月曜日や次の週に前週の事書いてはダメでしょうか？
- 共働きで子供と向き合う時間がどうしても減ってしまう。学童保育を利用しているが学童終わって家に帰ってから子供も疲れていて宿題をするのが疎かになっています。親も督促するのですがなかなか勉強を家でしてくれず、親も仕事で疲れていて何度も督促するのに疲れてしまい宿題が溜まることがしばしばあるのが現状です。学童と連携を取り、低学年でも学習の時間を設けてもらえると助かります。
- 一二年生のときは、週末に作文の宿題があり、文章を書く習慣ができ、言いたいことを表せる文を考えたり、書きたいけれどあいまいにしか分かっていないことを調べたりして、大変自主的な勉強になっており、よい取組だと思っていましたが、三年生でなくなり、とても残念です。隔週でもよいので、続けていただきたいと思います。
- 宿題は、毎日必要なのでしょうか？子供なりに、疲れている日もあり、無い日もあればいいなと感じました。夏は水泳の時間がある日は、特に疲れています。何かご褒美の日とかあつたりしたらなあと。それぞれ家庭のリズムも、あるかとは思いますが、宜しくお願ひします。

普段の学習は子どもたちの学びが深まるような授業を目指し日々取り組んでいます。「学年担任制」「教科担任制」に対して高い評価をいただきましたこと、誠にありがとうございます。これらの取組は、児童一人ひとりの学びと育ちをより丁寧に支えることを目的として導入・推進しています。複数の教員が連携して児童を見守ることで、よりきめ細やかな対応が可能となり、児童の安心感や信頼感の向上につながっております。また、学年間の連携が強化され、学年全体での教育活動の一体感が生まれました。さらに、専科制の導入により、教員の専門性を生かした授業づくりが進み、児童の学習意欲の向上にも寄与しております。しかし、ご意見にありますようにすべての児童が理解・定着しているわけではありません。学習量の多さや宿題の量や質に苦慮しているという声もあります。学校としては、学習習慣の確立を目指して、学校と家庭との学習をつなぐということを意識して取組を進めています。思考力判断力を育成する取組、主体的な学びに向かう力を育成する取組、そのようなことにつながる取組となるよう、これからも教職員で検討しながら進めていきたいと考えています。これからも教職員研修を重ね、研鑽を積んでいきたいと思います。

○緊急時・災害時・連絡アプリ・ホームページについて

- 災害時等に担任の先生がいらっしゃらない時は、お忙しいとは思いますが、どなたかの先生がクラスで対応してくださると子供も安心すると思います。よろしくお願ひいたします。
- いつもお世話になっております。先日の不審者の件で再認識したのですが、地域において連絡の徹底がされていません。（児童館に確認した際、その様な事は学校等含めて聞いてないと返答されました）せっかくのアプリやコミュニティがあるのに、この様な事があつてはならないと思います。集団下校するタイミングや、児童館との連携、勸修のおやじの会など、速やかに連絡して児童の安全確保を第一に動いて下さい。ボランティアで児童館の送迎の付き添いや、声掛けなどとして頂いていますが、なにぶん少人数なので全体を見る事は出来ません。とにかく、早目早目の対策の徹底をお願い致します。

【裏面へ続く】

- ・緊急で電話が必要な場合があるかもしれません、私が勤務中は原則電話に出れず、折り返しの電話が学校の時間外になります、電話内容が伝わりません。アプリ経由やメール等でどう言った内容の電話なのか、伝えてもらえるとありがたい限りです。
- ・すぐ一時に遅刻、欠席だけでなく、連絡帳の機能もあると嬉しいです。ホームページについて、おたよりアップだけでなく、月間行事を掲載して欲しい。参観や行事、代休などが一目でわかると助かります。

緊急時や災害時における地域との連携、特に児童館との情報共有が不十分であったとのご指摘につきまして、深く反省しております。児童の安全を守るためにには、学校・地域・保護者・関係機関が一体となって迅速かつ確実な連絡体制を築くことが不可欠であると、改めて認識いたしました。児童館とは定期的な情報交換の場を設け、緊急時の対応について共通認識をもてるよう努めてまいります。また、連絡アプリなどのコミュニティツールの活用方法を再確認し、確実に情報が届く体制を整備していきます。ボランティアとして登下校の見守りや声掛けなどにご尽力いただいていることに、心より感謝申し上げます。少人数での活動のご負担も大きいことと存じます。今後は、学校行事を中心により多くの方にご協力いただけるよう、地域への呼びかけていきます。ホームページは2学期から画面右側に月行事予定を表示しています。ご活用ください。

○ルール・持ち物・道具について

- ・参観日の時のルールが曖昧だと思います。スリッパなどを持って行っても、普通に下靴でいる保護者の方が多いです。下靴で良いなら荷物になるのでスリッパ持参とアナウンスしないでほしいです。スマホ撮影禁止となっているが、撮影する人もチラホラ、、ルールを守っている方がバカラしくなるので、禁止にするならもうすこし厳しく徹底してほしいです。
- ・体育館と教室の上靴を共通にしてもらいたいです。体育館の上靴はさらのような状態でサイズアウトします。
- ・子供の給食当番に使用するエプロンのサイズが小3で160は大きすぎるサイズだと思います。逆に不衛生だと思うので再度適正なサイズの検討を希望します。
- ・水着はスイミングスクールで着用しているものも着用可能にしてもらいたいです。年に数日しか使わないものを、サイズを合わせて用意するのが大変です。
- ・学校の清掃道具など、古く、先の短い簫などよく見かける。子供が使う物なので、痛みが早いのも理解できますが、掃除しやすいように買い替えの時期を短くできないものでしょうか。

スリッパ持参について、実際には下靴で過ごされる保護者の方が多くいらっしゃる状況があるとのご指摘を受け、学校としても案内内容と実態に差があることを重く受け止めております。今後は事前の案内文において、校内での履物に関するルールを明確にし、保護者の皆様に混乱が生じないよう改善してまいります。

また、スマートフォンによる撮影のルールについても、守られていない場面が見受けられるとのご指摘をいただきました。参観日における撮影につきまして、これまで「スマートフォン等による撮影は禁止」とご案内してまいりましたが保護者の皆様からのご意見やご要望を踏まえ、以下のようにルールを明確化いたします。

今後は、ご自身のお子様の姿や発表を中心とした撮影については許可いたします。ただし、以下の点についてご理解とご協力ををお願いいたします。

- ・撮影した写真や動画は、SNS等インターネット上への投稿はしないようお願いいたします。
- ・教職員や授業の妨げになるような撮影はご遠慮いただきますようお願いいたします。

児童のプライバシー保護と教育環境の維持のため、引き続きルールの周知と徹底に努めてまいります。皆様のご理解とご協力ををお願い申し上げます。

水着につきましては学習に適した(泳ぎやすさを重視した)ものを推奨しています。スイミングスクールで使用されているものが可能かどうか不明な場合は一度学校にお持ちいただければと思います。

体育館と教室で使用する体育館シューズについて、「ほとんど使用されないままサイズアウトしてしまう」とのご指摘を受け、学校としても現状の運用を見直す必要があると感じております。児童の成長に伴う靴のサイズアウトは避けられないものではあります、使用頻度や保護者の皆様のご負担を考慮し、**体育館と教室で共通の上靴を使用することが可能かどうか**、今後検討を進めてまいります。安全面や衛生面、体育活動における適切な履物の条件なども踏まえ、教職員、学校運営協議会員と協議のうえ、より合理的な運用方法を模索してまいります。

校内の清掃道具やエプロンにつきましては、年度初めに点検、修理、買替えを行っていますが、年度途中でも壊れているものや古いものは交換していきます。

○スマートフォン・SNS・アンケートについて

- ・特定の子に対して、上下関係が生まれたり、からかったり、変なことを強要するのではなく、子供たちがお互いを尊重し、対等な関係で関わることの大切さを子どもたちに継続的に教えて頂き、ありがとうございます。
- ・SNSなど、どんな危険があるあまり想像できない年頃なのに、LINEをしている友達が多く（うちはまだ利用させてませんが）今後を考えると心配になります。
- ・お友達同士でコソコソ話をしている中で、○○ちゃん嫌い…などの言い合いがあるようです。軽い気持ちなのかも知れませんが、受け取る側の気持ちはそうではないかも知れないので、トラブルにならないか心配です。
- ・低学年からLINEのグループが作られる事が始まっています、そのLINEでケンカのような事が勃発しています。その都度良くないLINEグループからは抜け出させていますが、そのあたりのスマホモラルの勉強も早いうちに授業で取り組んで頂けると助かります。
- ・学校評価アンケートの文言について…「ゲームや～～守らせている。」など、これは学校の評価というより、保護者の評価になると思います。保護者が自分をどう評価しているのかが知りたいのであれば、もう少し学校の取組に対して子どもや保護者の思いが反映されるアンケートの文言にしてはいかがでしょうか。もし、家庭での様子が知りたいのであれば、例えば「子どもに、朝ごはんを食べさせている。」は「子どもは、朝ごはんを食べている→(1)毎日食べる(2)食べない日もある(3)食べない日が多い(4)毎日食べない」の方が指導に生かされるのでは？質問事項と選択肢を再考して学校教育に活かして欲しいです。

近年、低学年の児童の間でもスマートフォンやSNSの利用が広がっており、保護者の皆様がご心配されるお気持ちは、学校としても理解しております。特に、LINEグループ内のトラブルや言葉の行き違いによるケンカなど、児童にとって大きなストレスとなるケースも報告されています。

本校では、児童が情報機器を安全に使えるよう、スマートフォンやSNSに関するモラル教育（情報モラル教育）を段階的に進めております。今後は、**低・中学年向けの情報モラル授業の導入や保護者向けの情報提供**のような取組を進めてまいります。

ご指摘いただき、「ゲームや～～守らせている」などの設問につきまして、確かに保護者の方の取組を問う内容となっており、「学校評価」という趣旨から外れている印象を与えてしまつたこと、深く反省しております。学校評価アンケートは、学校の取組、教育活動、支援体制等について、保護者の皆様や児童の思いを反映し、今後の改善に活かすことを目的としております。そのため、今後は以下のような点を見直してまいります。

・**設問の目的と対象の明確化**:学校の取組に対する評価と、家庭の様子を把握するための質問を分けて整理し、混乱のない構成にいたします。

・**回答形式の工夫**:ご提案いただいたように、「～しているかどうか」を児童の実態に即した選択肢で答えられるようにすることで、より具体的な指導に生かせるよう改善を検討いたします。

・**保護者、学校運営協議会の声の反映**:アンケート設問の作成にあたって、保護者の皆様や学校運営協議会員の視点を取り入れる機会を設けることも検討してまいります。

～学校運営協議会より～

- ・地域の読み聞かせ活動（くすくす）はよく聞いてくれている。
 - ・教職員の働き方、部活動について勤修小学校ではどのように進んでいるのか。
- 勤修小学校では、**教職員の働き方改革と部活動の在り方について、前向きに取り組んでいます。業務の効率化やICT活用を進め、教員の負担軽減を図るとともに、子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりを重視しています。部活動についても、地域との連携を強化し、持続可能で安全な運営を目指しています。**今後も協議会のご意見を踏まえ、より良い学校づくりに努めてまいります。
- ・横断歩道を走って横切っている児童がいて、大変危ない。→**安全指導を徹底してまいります。**
 - ・地域の人材を活用していく大変うれしい。→**生活科・家庭科・総合学習を中心にお世話になっています。**
 - ・SNSのトラブルが心配です。→**保護者様のご意見と同様、低・中・高学年、それぞれの実態に合わせて情報モラル授業を進めてまいります。**

たくさんの貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。多くの感謝の言葉や楽しくて学校に行っているというご意見、大変うれしくありがとうございます。中には厳しいご意見もあり、まだ改善や見直しをしなければならないところがあります。ご指摘いただいたことを真摯に受け止め、学校として努力すべきことは精一杯努力し、保護者や地域の方々と共に歩んでいけるよう、しっかりと情報提供をしながら協力して進めていきたいと思います。皆さんのご理解、ご協力をいただきながら連携を大切にして進めていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。